

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー  
 コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 潤  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 堀 信幸  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 048-650-6051

平成25年12月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,754	14.4	119	35.0	120	87.0	77	91.7
25年3月期第2四半期	2,407	1.4	88	50.1	64	68.9	40	171.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 156百万円 (263.9%) 25年3月期第2四半期 43百万円 (84.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	17.05	—
25年3月期第2四半期	8.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7,923		3,099		39.1		681.57	
25年3月期	7,517		2,965		39.5		652.12	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,099百万円 25年3月期 2,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	14.8	220	62.4	210	50.5	120	56.3	26.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】2ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	4,618,520 株	25年3月期	4,618,520 株
26年3月期2Q	70,804 株	25年3月期	70,584 株
26年3月期2Q	4,547,716 株	25年3月期2Q	4,548,587 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策等により個人消費の持ち直し、円高の是正、株価の好転、また、世界経済の穏やかな回復もあり、国内景気は回復基調で推移いたしました。

このような中、当社グループは、事業領域として自動車・情報通信・医療介護の各分野への経営資源の集中を図り、お客様の視点に立ったものづくりを進めるとともに、独自の開発製品の販売拡大に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は27億5千4百万円（前年同四半期比14.4%増）となり、利益面では、連結営業利益は1億1千9百万円（前年同四半期比35.0%増）、連結経常利益は1億2千万円（前年同四半期比87.0%増）、連結四半期純利益は7千7百万円（前年同四半期比91.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### 工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車産業において、円安により米国向けを中心に輸出が伸びたことから、主にASA COLOR LEDを始めとした自動車関連製品の受注が、海外向けを中心に増加しました。スポーツ用ゴム製品の卓球ラケット用ラバーは既存製品の販売が引き続き好調に推移しております。また、機能製品であるRFIDタグ用ゴム製品の受注も堅調に推移いたしました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は21億9千1百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。またセグメント利益は2億2千万円（前年同四半期比53.5%増）となりました。

#### 医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、前期は顧客の在庫調整等により減少していた一部の医療用ゴム製品の受注が当期より回復してきたことから、売上高は増加いたしました。一方、下期に量産化を予定している新規製品の立上げにかかるコスト負担等により営業費用が増加いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は5億6千2百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。また、セグメント利益は1千4百万円（前年同四半期比77.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて4億5百万円増加し、79億2千3百万円となりました。その主な要因は、売上の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて2億7千1百万円増加し、48億2千3百万円となりました。その主な要因は、仕入の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加、長期借入金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1億3千3百万円増加し、30億9千9百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて1億7千4百万円減少の5億7千万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは8千6百万円の収入（前年同四半期は8千7百万円の収入）となりました。

これは主に売上債権の増加額4億8千3百万円（前年同四半期は7千3百万円の減少）があったものの、税金等調整前当期純利益1億1千5百万円（前年同四半期は5千5百万円）、減価償却費1億8千1百万円（前年同四半期は1億7千2百万円）及び仕入債務の増加額1億9千4百万円（前年同四半期は4千2百万円の減少）等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億5千7百万円の支出（前年同四半期は2億4千5百万円の支出）となりました。

これは主に定期預金の払戻による収入11億6千万円（前年同四半期は11億8千4百万円の収入）があったものの、定期預金の預入による支出12億1千5百万円（前年同四半期は11億7千5百万円の支出）、有形固定資産の取得による支出1億9千4百万円（前年同四半期は2億4千9百万円の支出）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4千9百万円の収入（前年同四半期は1億7千8百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出6億2千4百万円（前年同四半期は5億3千8百万円の支出）があったものの、長期借入れによる収入7億円（前年同四半期は4億円の収入）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年8月9日の「平成26年3月期 第1四半期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,982,546	1,940,423
受取手形及び売掛金	1,042,430	1,536,717
商品及び製品	157,648	161,273
仕掛品	175,373	199,994
原材料及び貯蔵品	88,269	88,340
その他	137,310	101,546
貸倒引当金	△1,077	△1,480
流動資産合計	3,582,501	4,026,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,178,070	1,140,004
機械装置及び運搬具（純額）	1,012,793	988,022
土地	887,802	887,802
その他（純額）	116,020	120,409
有形固定資産合計	3,194,687	3,136,239
無形固定資産	5,180	5,357
投資その他の資産		
その他	731,707	754,285
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	728,285	750,863
固定資産合計	3,928,153	3,892,460
繰延資産	6,753	3,901
資産合計	7,517,409	7,923,177
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	760,589	961,926
1年内返済予定の長期借入金	1,068,949	1,060,658
未払法人税等	6,724	39,438
その他	343,975	279,752
流動負債合計	2,180,238	2,341,775
固定負債		
長期借入金	1,710,913	1,794,804
退職給付引当金	439,414	461,720
役員退職慰労引当金	209,041	216,312
その他	12,012	8,987
固定負債合計	2,371,380	2,481,823
負債合計	4,551,619	4,823,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	1,998,377	2,053,196
自己株式	△45,609	△45,673
株主資本合計	2,927,608	2,982,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,087	72,364
為替換算調整勘定	△17,905	44,850
その他の包括利益累計額合計	38,181	117,215
純資産合計	2,965,789	3,099,578
負債純資産合計	7,517,409	7,923,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	2,407,095	2,754,241
売上原価	1,765,623	2,038,632
売上総利益	641,471	715,608
販売費及び一般管理費	553,142	596,347
営業利益	88,329	119,261
営業外収益		
受取利息	940	640
受取配当金	1,884	2,391
補助金収入	—	9,259
雑収入	3,908	6,084
営業外収益合計	6,734	18,374
営業外費用		
支払利息	14,970	11,314
開業費償却	3,043	3,770
為替差損	10,380	—
雑支出	2,280	2,144
営業外費用合計	30,674	17,229
経常利益	64,389	120,407
特別利益		
固定資産売却益	257	33
特別利益合計	257	33
特別損失		
固定資産売却損	21	—
固定資産除却損	2,111	5,022
その他	7,428	32
特別損失合計	9,562	5,054
税金等調整前四半期純利益	55,084	115,386
法人税等	14,619	37,826
少数株主損益調整前四半期純利益	40,465	77,559
四半期純利益	40,465	77,559

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,465	77,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,007	16,277
為替換算調整勘定	13,568	62,756
その他の包括利益合計	2,560	79,033
四半期包括利益	43,026	156,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,026	156,593

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	55,084	115,386
減価償却費	172,426	181,800
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△77	384
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,350	22,177
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,669	7,271
受取利息及び受取配当金	△2,825	△3,031
支払利息	14,970	11,314
為替差損益 (△は益)	△393	△1,909
有形固定資産売却損益 (△は益)	△235	△33
有形固定資産除却損	2,111	5,022
投資有価証券評価損益 (△は益)	7,428	32
売上債権の増減額 (△は増加)	73,551	△483,555
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△27,304	△17,384
仕入債務の増減額 (△は減少)	△42,675	194,308
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,726	16,016
その他	△24,814	32,216
小計	228,540	80,015
利息及び配当金の受取額	2,631	2,948
利息の支払額	△14,940	△12,256
法人税等の還付額	525	20,401
法人税等の支払額	△129,321	△4,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,435	86,690
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,175,000	△1,215,803
定期預金の払戻による収入	1,184,197	1,160,200
有形固定資産の取得による支出	△249,712	△194,560
投資有価証券の取得による支出	△1,811	△1,878
その他	△3,487	△5,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245,814	△257,138
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△13,239	—
長期借入れによる収入	400,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△538,685	△624,400
配当金の支払額	△22,431	△22,420
自己株式の取得による支出	△198	△64
その他	△4,438	△3,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,992	49,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,518	18,446
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△328,852	△102,193
現金及び現金同等物の期首残高	1,073,321	672,476
現金及び現金同等物の四半期末残高	744,468	570,283

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	工業用ゴム 事業(千円)	医療・衛生用ゴム 事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	1,873,990	533,105	2,407,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,873,990	533,105	2,407,095
セグメント利益	143,787	63,764	207,552

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	207,552
全社費用(注)	△119,222
四半期連結損益計算書の営業利益	88,329

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	工業用ゴム 事業(千円)	医療・衛生用ゴム 事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	2,191,650	562,590	2,754,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,191,650	562,590	2,754,241
セグメント利益	220,664	14,381	235,045

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	235,045
全社費用(注)	△115,783
四半期連結損益計算書の営業利益	119,261

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。